



「作品」鑑賞はいつのまにか「コンテンツ」消費

映画を早送りで観る人たち

コラムニスト稲田豊史さんの書いた「映画を早送りで観る人たち」を紹介したい。

今はNetflixなどの映画を1.5倍速で見る人が多いのだという。それどころか、「10秒送り」で会話のないシーンや風景描写を飛ばし2時間の映画を1時間で見終えるのだという。またシリーズもののドラマは話の本筋から離れている回はまるまる飛ばし、なんならいきなり最終回を見るのだという。ネタバレおかまいなし。これでは鑑賞ではなく確認である。

なぜそのようなことをするのかというと、友人同士の話題について行くためだ。確かに私の頃もテレビドラマやマンガを見ていないと話題について行けなかったが、今は作品も多く、友人それぞれが自分の好きなものをSNSなどで紹介するので、それら全てをチェックするには時間が足りないのだという。話題に遅れないためにストーリーだけチェックする。「私も見たよ」という一言のために。その際たるものが「ファスト映画」というもので、映画のシーンを10分ほどに切り貼りした動画があるのだという。（当然著作権違反だが）

セリフで全部説明してほしい

しかし、今はドラマのほうもそれを可能にするようにできていて、暗示的な描写を避けたわかりやすいシナリオになっているらしい。

この本の第2章には次のようなことも書いてある

「とある作品のワッペンで、男女が無言で見つめあっているが、互いに相手から視線を外さない。明らかに好意を抱き合っている描写だ。しかしある視聴者は、それが相思相愛の意味だとわからず、誰かから教えられると、こう反論した。

「でも、どっちも『好き』って言ってなかったら、違うんじゃない？好きだったら、そう言うはずだし」 (p.85)

「嫌い」と言いながら本当は「好き」という芝居は、顔を真っ赤にするツンデレ的なマンガ描写を用いなければきっと伝わらないのだろう。切り方でわかりやすく説明しないと視聴者には理解できず、作品は「わからない」「つまらない」とマイナス評価が下され、SNSで発信される。そして現在は「わからない」などという自分の理解力のなさを恥じることなくどうどうとつぶやき、拡散されてゆく。

「ネットで“おもしろい”って声をあげるのは、勇気がいるんです。絶対に否定されないような、あらゆる人が傑作と認めている“勝ち馬”にしか、“おもしろい”っていえない空気がある

る。」 (p.98)

「作品に賛同するよりも、クレームを言うほうがマウントを取れます。“こんなわかりにくい作品をつくりやがって”と憤ることで、被害者になれる。しかも被害報告はネット上で賛同を得やすい」 (p.99)

そんな視聴者に迎合するようにスポンサーからわかりやすいものを作るように要求され、それに答える形で特に切り方が説明的になっているのだという。『鬼滅の刃』がその典型で、主人公炭治郎はとにかくよくしゃべる。「痛い」とか「苦しい」とか表情や背景描写でいくらでも表現できることを全部説明する。しかしそれになれてしまうと切り方以外の情報を読み取る力が弱まる危険性がある。

コンテンツ消費から創作へ

すべての視聴者が暗示的な描写が読み取れないのではなく、その割合はまだまだ少数であろう。がしかし、そういう声がネットにあふれば、当然それに合わせた「わかりやすい（しかしつまらない）」作品が増えることだろう。そして、それにならされてゆくうちに、全体の理解力も低下するに違いない。ちょうど車社会になられた我々の足腰のように。

ファスト教養

「ファスト教養」（レジー著集英社新書）という本もある。YouTubeなどで古典や名著を10分程度で解説するチャンネルが多いそう。一読してよくわからないから古典なのであって、それを断定的に言い切るのはどうなのだろう。

現在の社会は、情報の消費者として非常に快適である。わかりやすく、心地よいコンテンツはネットにあふれ、わからないことはググればすぐに答えが出る。でも「わかりやすい」「便利」の裏には当然落とし穴もある。

新たなものを創作できる力が失われようとしている。それに対抗するにはちょっと立ち止まり、五感を働かせて、自分のセンサーを磨くことではないだろうか。そんなあたりまえのことが、ぜいたくになってしまう時代になってゆくのだろうか。



コラムで紹介した本

『映画を早送りで観る人たち』
稲田豊史/著

『ファスト教養10分で答えが欲しい人たち』
レジー/著

『川のほとりに立つ者は』
寺地はるな◆双葉社

『君のクイズ』
小川哲◆朝日新聞出版

『重くほん』
町田そのこ◆小学館

『月の立つ林で』
青山美智子◆ポプラ社

『汝、星のごとく』
風良ゆう◆講談社

『方舟』
夕木春央◆講談社

『＃真相をお話しします』
結城真一郎◆新潮社

『爆弾』
呉勝浩◆講談社

『光のところにいてね』
一穂ミチ◆文藝春秋

『ラブカは静かに弓を持つ』
安壇美緒◆集英社

『ミネート作品発表』
書籍名五十音順

『本屋大賞』
2023年本屋大賞

『いちばん！売りたい本』
全国書店員が選んだ

／ミネートされた10作品すべてを展示しております。貸出もできます。皆さんも受賞作品を予想してみませんか？



春休み中の開館時間

春休み中の図書館開館時間をお知らせします。本の貸し借り、閲覧室の利用ができます。＊自習室の利用時間も同じです

月	火	水	木	金	土	日
3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26
終業式 16:00閉館	春分の日 閉館	9:00 ↓ 16:00	9:00 ↓ 16:00	9:00 ↓ 16:00	閉館	閉館
3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2
9:00 ↓ 16:00	9:00 ↓ 16:00	9:00 ↓ 16:00	離任式 16:00閉館	閉館	閉館	閉館
4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9
9:00 ↓ 16:00	9:00 ↓ 16:00	9:00 ↓ 16:00	始業式 入学式 通常開館	9:00 ↓ 17:00	閉館	閉館

図書返却のお願い

本の貸出期間は2週間です。予約が入っている場合もありますので、返却日を守ってください。

図書館を利用するすべての人が、気持ち良く利用できるような心がけましょう。

教室や部室、自宅に置き忘れている本はありませんか。もう一度確認をお願いします。

新着本の紹介

書名	著者名	請求番号	出版社
000 総記			
Web3とは何か	岡嶋 裕史	007.3 ㌸	光文社
LATEX2e美文書作成入門 改訂第8版	リクエスト本	021.4 ㌸	技術評論社

新着本の紹介								
書名	著者名	請求番号	出版社	書名	著者名	請求番号	出版社	
000 総記				500 技術				
健康長寿県しずおかの秘密をひも解く	寄贈本 静岡県文化財団	090 シズ	ことのは社	佐渡鉱山と朝鮮人労働	竹内 康人	562.1 矧	岩波書店	
100 哲学・心理学				今、作りたいスマホジョルダ ー		594.7	ブティック社	
幸せな自信の育て方	シャルル・ペバン	159 ペバ	ダイヤモンド社	しあわせ4コマレシビ	まいのおやつ	596 マイ	ワニブックス	
200 歴史・地理				スーパーのお魚で!港町の漁師飯	ダンノ マリコ	596.3 ダン	春陽堂	
一気に読み世界史	出口 治明	209 デグ	日経BPマーケティング	新しい収納の教科書	赤工 友里	597.5 アカ	角川書店	
日本史を暴く	磯田 道史	210.4 イソ	中央公論新社	600 産業				
チャートと地図でわかる徳川家康と最強家臣団	小和田 泰経	210.4 オワ	ホビージャパン	人々にあう	コンラート・ローレンツ	645.6 ロー	早川書房	
一度見たら誰もがはまる!朝鮮王朝時代劇	著者より寄贈 浅野 秀喜	221 アサ	つむぎ書房	培養肉とは何か?	竹内 昌治	648.2 矧	岩波書店	
300 社会科学				700 芸術				
「情報自由法」で社会を変える!	ジョン・ミッチェル	317.9 ミツ	岩波書店	視覚の生命力	共通テスト関連書籍	柏木 博	701 カシ	岩波書店
私たちと戦後責任	宇田川 幸大	319.1 ユダ	岩波書店	うたに刻まれたハンセン病隔離の歴史		沢 知恵	767.6 サワ	岩波書店
ウクライナ戦争	小泉 悠	319.3 コイ	筑摩書房	800 言語				
隣人のあなた	安田 菜津紀	329.9 ヤス	岩波書店	すぐに引ける手話ハンドブック		モンキー高野	801.9 モン	ナツメ社
ISOは経営をダメにする	著者より寄贈 萩原 睦幸	336 ハギ	幻冬舎	面白くて眠れなくなる日本語学		山口 謠司	810.4 ヤマ	PHP研究所
思考技術	高松 智史	336.2 タカ	実業之日本社	900 文学				
多様性の科学	マシュー・サイト	361.4 サイ	デイスカヴァー・トゥエンティワン	曲亭馬琴の世界	リクエスト本	板坂 則子	913.5 イタ	笠間書院
航空宇宙エンジニアになるには	小熊 みどり	366 オグ 159	ベリかん社	覇王の轍		相場 英雄	913.6 アイ	小学館
10代から知っておきたい女性を閉じこめる「ずるい言葉」	森山 至貴	367.1 モリ	WAVE出版	月の立つ林で	本屋大賞バネート作品	青山 美智子	913.6 アオ	ポプラ社
指と耳で見る、目と手で聞く	金治 直美	369.2 カナ	ベリかん社	蜘蛛の糸・杜子春 改版	(汚損のため買換)	芥川 龍之介	913.6 アカ	新潮社
100円ショップ 防災手帳	龍洪 守人	369.3 リュ	幻冬舎	羅生門・鼻 改版	(汚損のため買換)	芥川 龍之介	913.6 アカ	新潮社
いじめ加害者にどう対応するか	斎藤 環	371.4 サイ	岩波書店	河童・或阿呆の一生 改版	(汚損のため買換)	芥川 龍之介	913.6 アカ	新潮社
6ヵ国転校生ナージャの発見	クリーパ・ナージャ	372 クリ	集英社	天国までの百マイル		浅田 次郎	913.6 アサ	朝日新聞出版
ビジネスとしての東大受験	黒田 将臣 西岡 竜誠	376.8 クロ	講談社	鉄道員(ぼっばや)		浅田 次郎	913.6 アサ	集英社
大学生学びのハンドブック 5訂版	世界思想社編集部	377.1 セカ	世界思想社	ここだけのお金の使いかた		アミの会	913.6 アミ	中央公論新社
危機の中の学問の自由	羽田 貴史	377.1 ハツ	岩波書店	私たちの金曜日		有川 ひろ	913.6 アリ	角川書店
大学生が狙われる50の危険 リスクに備える最新情報版	三菱総合研究所	377.9 ミツ	青春出版社	光のところにいてね	本屋大賞バネート作品	一穂 ミチ	913.6 イフ	文藝春秋
ひどい民話を語る会	京極 夏彦	388.1 キョ	角川書店	東大に名探偵はいない		市川 憂人	913.6 イフ	角川書店
桜華	武田 頼政	392.1 タケ	文藝春秋	母影	リクエスト本	尾崎 世界観	913.6 オザ	新潮社
400 自然科学				警視庁アウトサイダー 〔1〕		加藤 実秋	913.6 カト 1	角川書店
あつまる細胞	竹市 雅俊	400 イワ 316	岩波書店	名探偵のままでいて		小西 マサテル	913.6 コニ	宝島社
はまると深い!数学クイズ	横山 明日希	410.7 ヨコ	講談社	荒地の家族	芥川賞受賞作品	佐藤 厚志	913.6 サト	新潮社
量子力学の多世界解釈	和田 純夫	421.3 ワダ	講談社	ソノリティ		佐藤 いつ子	913.6 サト	角川書店
生命の大進化40億年史 中生代編	土屋 健	457 ツチ	講談社	君の傷痕が知りたい		汐見 夏衛	913.6 シオ	スターツ出版
新しいゲノムの教科書	中井 謙太	467.3 ナカ	講談社	クロダイル・ティアーズ		栗井 脩介	913.6 シズ	文藝春秋
植物の体の中では何が起きているのか	嶋田 幸久	471.3 シマ	ベレ出版	令和その他のレイクにおける健全な反逆に関する架空六法		新川 帆立	913.6 シン	集英社
人体最強の臓器 皮膚のふしぎ	梶島 健治	491.3 カハ	講談社	一条天皇と中宮定子	著者より寄贈	高橋 政光	913.6 タカ	創英社
HSPゲームの功罪を問う	飯村 周平	493.7 イイ	岩波書店	しろがねの葉	直木賞受賞作品	千早 茜	913.6 チハ	新潮社
「心の病」の脳科学	林(高木)朗子	493.7 ハヤ	講談社	答えは市役所3階に		辻堂 ゆめ	913.6 ツジ	光文社
生理の話	池田 亜希子	495.1 イケ	ベリかん社	闘う君の唄を		中山 七里	913.6 カナ	朝日新聞出版
500 技術				こころ 改版	(汚損のため買換)	夏目 漱石	913.6 ナツ	新潮社
誰のための排除アート?	五十嵐 太郎	518.8 イカ	岩波書店	それでも僕は東大に合格したかった		西岡 竜誠	913.6 ニシ	新潮社
地球環境問題がよくわかる本 改訂版	浦野 紘平	519 ウラ	オーム社	君はレフィ		額賀 滯	913.6 オカ	小学館
ブルーカーボンとは何か	枝廣 淳子	519 エダ	岩波書店	ぼんくら 上・下		宮部 みゆき	913.6 ミヤ 1・2	講談社
ル・コルビュジエと近代絵画	共通テスト関連書籍 呉谷 充利	523.3 クル	中央公論美術出版	中庭のオレンジ		吉田 篤弘	913.6 ヨシ	中央公論新社
小さな家	共通テスト関連書籍 ル・コルビュジエ	527.1 ルコ	集文社	ものがわかるということ		養老 孟司	914.6 ヨロ	祥伝社
廃炉とは何か	尾松 亮	543.5 オマ	岩波書店	春にして君を離れ		アガサ・クリスティー	933.7 クリ	早川書房